

2021年2月26日

各 位

会 社 名 株式会社アマナ  
代 表 者 代表取締役社長 進藤 博信  
(コード番号 2402 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役 Platform Design 部門担当  
石亀 幸大  
(TEL. 03-3740-4011)

## 中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2021年2月26日開催の取締役会において、2021年度を初年度とする「中期経営計画（2021年12月期～2023年12月期）」を策定しましたので、その概要についてお知らせいたします。

なお、中期経営計画の策定にあたっては、外部コンサルタントを起用し協働することで、より蓋然性の高い計画策定を企図いたしました。

株主、投資家の皆様をはじめステークホルダーの皆様から、信頼と継続的な支援をいただけるよう、計画達成にむけて邁進してまいります。

以 上

## 1 中期経営計画策定の目的

当社グループでは、テクノロジーの進化やメディアの変化に柔軟に対応して持続的に成長するため、中長期的な観点から経営計画の策定に取り組んでおります。

2020年度においては、次年度からの中期経営計画期へ向けた「準備期」と位置づけたなかで、「One amana!」を掲げる経営方針のもと、全社横断型の戦略的な営業体制、ワンストップのクリエイティブ体制、効率的なグループ運営体制の構築を推進してまいりました。

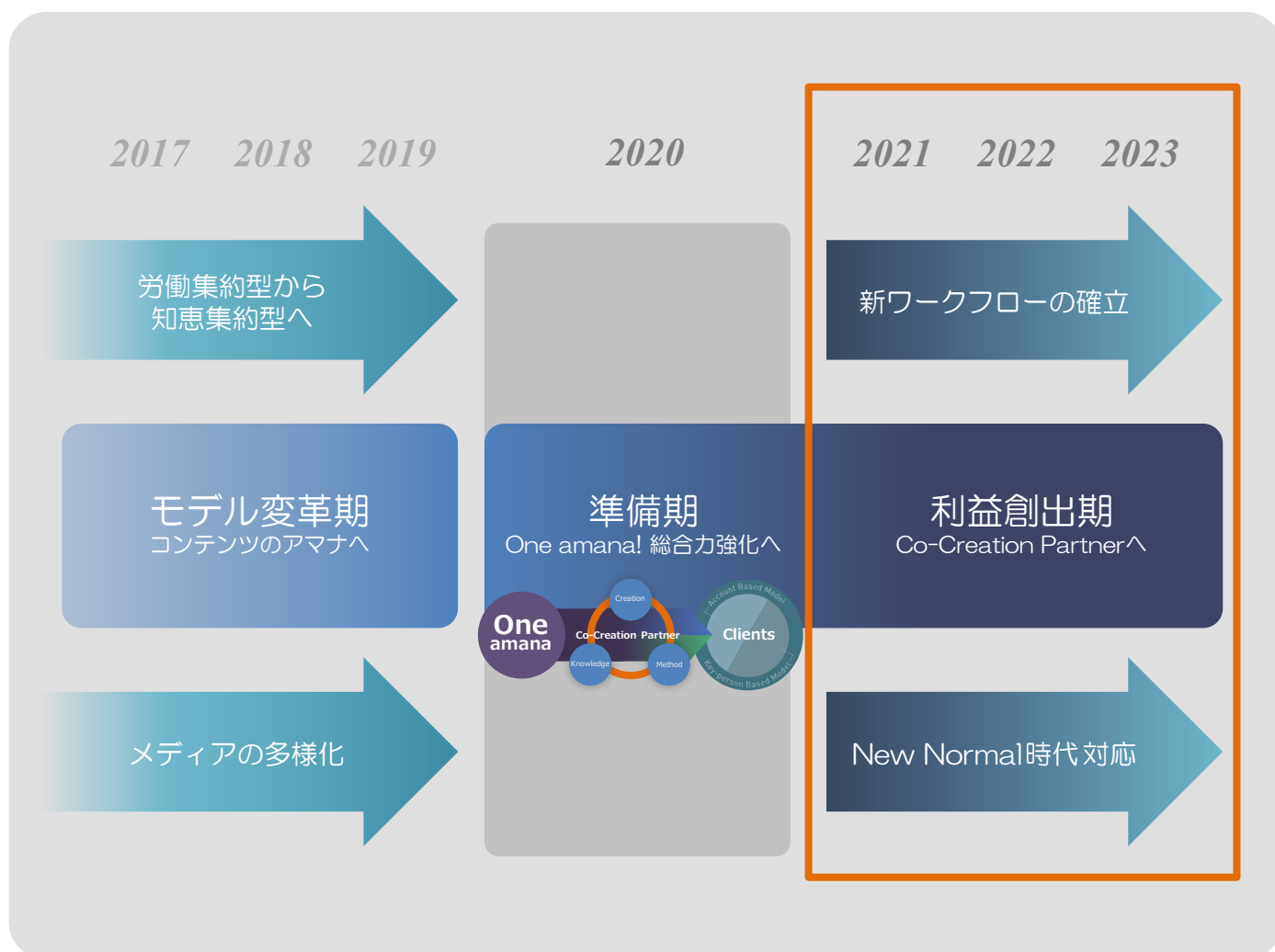
しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、営業及び制作活動が一部制限を受けるなかで、売上高が大幅に減少し、外注費を中心とした原価削減、人件費や設備費を中心とした固定費削減を図ったものの、大きな損失を計上し、債務超過に陥っております。さらに、当社及び当社連結子会社であった会社において判明した不適切な会計処理を受け、内部管理体制及びコンプライアンス体制に課題を残しました。

2021年を初年度とする中期経営計画期においては、あらためて「内部統制の強化」に向けた継続的な取り組みを実施するとともに、「利益創出」にこだわることで収益構造の改善及び財務基盤の安定化に努め、お客様の「Co-Creation Partner」を標榜するビジネスモデルを支える経営基盤を再構築してまいります。

## 2 中期経営計画の基本方針

新ワークフローの確立 | Co-Creation Partnerの実現

- 利益創出と内部統制強化の実現
- New Normal時代に対応する働き方の進化



### 3 中期経営計画における基本戦略



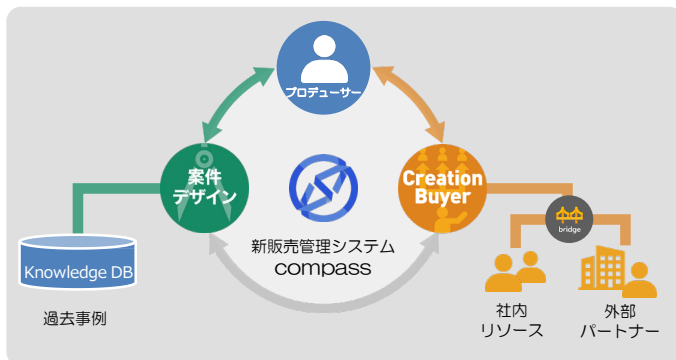
#### ■トップライン再成長

総合力を発揮するため、「One amana!」を掲げる経営方針に基づき、前期より整備を進めた全社横断型の戦略的な営業体制のもと、アカウントベースドモデルの採用を拡大させ、クライアント視点からの営業戦略を展開し、クライアント企業との継続的な関係構築を推進するなかで、効率的に売上高の再成長を図ってまいります。



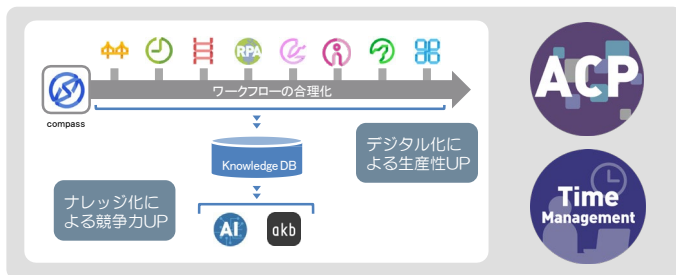
#### ■原価削減

「案件をデザインする」をコンセプトに、利益体質化に向けた企業文化の醸成とともに、十分なチェック・モニタリングが機能する仕組みの構築を推進することで、利益管理と内部統制の強化を実現してまいります。さらに、外注費のコントロール強化として、クリエイションバイヤー部門を設置し、グループ内部のクリエイティブリソースの最大活用とともに、外部発注プロセスの再構築による発注先や発注額の最適化を徹底し、収益性向上を図ってまいります。



#### ■DX推進

コロナ禍において働き方が変化するなか、ワークフローのオンライン化など、DXを進めることで生産性を上げるとともに、ナレッジの活用により効率性と競争力を向上させ、New Normal時代に対応してまいります。また、ACPの中心となるcompassのリニューアルを契機に、ワークフローそのものの見直しやシステムを刷新することで、内部統制の強化にもつなげてまいります。



ACP : amana creative platform

### 4 数値目標

